

2023年度学校関係者評価委員会 評価結果報告

日産栃木自動車大学校 学校関係者評価委員会

1. 開催日時

2023年6月30日（金） 13:30～15:30

2. 開催場所

日産栃木自動車大学校 会議室

3. 出席者

- （評価委員） 1、委員長（業界団体・卒業生代表）青柳 洋平様（栃木県自動車整備振興会 課長 / 一級自動車工学科 第1期生）
 2、委員（地域団体代表）星野 和弘様（上三川町 総務課長）
 3、委員（企業・卒業生代表）星 章夫様（栃木日産自動車販売(株) 店舗支援部 執行役員 / 自動車整備科 第4期卒業生）
 4、委員（企業代表）水越 喜之様（日産プリンス栃木販売（株）管理本部 人材・教育チーム 次長）

（学校事務局） 中村光之(校長)、櫻井廣行(教頭)、高橋 真(教育部教育課長)、渡辺 禎(教育部 課長)
 羽井野昌能(学務部 課長) 川上宏美(学務部部長 / 事務局窓口)

4. 議題

- 1) 校長挨拶
- 2) メンバー紹介（評価委員、学校事務局）
- 3) 2022年度の活動振り返り
- 4) 意見交換

5. 論議

・項目別評価と主な意見、及び それに対する学校の受止め

認否	基準	項目	内 容
承認	1. 教育理念・目標	主な課題	・個々の学生間の学力差等も拡大しており、ICT機器の導入等で、個々に適正なフォローができる対応を開始。 ・留学生新3年程立上げ2年目となるが、日本語力向上には課題。日本語学校の助力を得て対応を図っていく。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	2. 学校運営	主な課題	・FY22では日産自動車監査室の指導も得て、組織運営レベルの向上を図っている。細部、改善した項目の維持が今後の課題。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	3. 教育活動	主な課題	・日産学園は中期的に「自主性・主体性」の育成をテーマにしており、22年度は 実習授業に主体的に取り組む工夫として、ルーブリック評価導入スタートさせた。実習レポート評価への全面取入れなどを行う中で、実感を得て、23年度では、各実習ごとに一つ、ルーブリック評価を取り入れて自主性、主体性をあげる取り組みを行う。
		主な意見	・職場で自ら動ける人は、学校でもそうした体験を積んだ人だと考える。難しい取り組みだが、頑張してほしい（星） ・P栃木の中でも、新人育成プロジェクトとしてCA,TS共同の小集団活動で、自ら考え行動する体験の場を設けており、そうした経験値が彼らの成長の支えになると考える。重要な取り組みと考えるので推進してほしい（水越） ・栃木校には、様々な人材育成活動を展開して頂き、安心している。今後も、思うところを実践してほしい（青柳）
		意見の受止	・自主性、主体性の活動の目的は、就職後現場で、実際に自ら動けるようになること。その為に、学生が「何をすればいいのか」少しでも体得してくれるよう、ルーブリック評価をガイドとして役立てたい。また、そのガイドも都度、見直しながらよりいいものにしていく事を忘れずに行きたい。
承認	4. 学修成果	主な課題	・22年度は21年度の反省を踏まえ、弱点克服に取り組んだ成果があり、一級は、全員が筆記、口述に合格。昨年度口述で不合格となった7名も、今回は合格出来た。 二級も全員が資格を取得する事が出来た。 ・23年度は、留学生の二級受験者が急増するため、留学生の多い他校をBMに対策を検討していく。
		主な意見	・一級課程では日々のHRの中で、毎日1～2問の問題をこなしていくような積み上げをされたということだが、毎日、少しずつ、積み上げを図っていくような取り組みが重要だと考える（星）
		意見の受止	・一級については、次年度も全員合格を確実にするために、これまでの地道な取り組みと併せ、他校の授業研究も行き、成果を確実なものにしていく。

認否	基準	項目	内 容
承認	5. 学生支援	主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度の休退学率は7.8%とこれまでにない高さとなった。主因はコロナ禍もあり、学費の資金に窮した留学生が多く退学した事による。23年度は、海外のコロナの状況も一段落してきており、落ち着くことを期待したい。 ・整備職を望まない学生に向け、整備の魅力を訴求していく為、販社との接点を様々持とうとしてきたが、まだ、訴求しきれていない。23年度は各接点の繋がりを持たせ、学生に整備士の魅力を伝えていく。 ・留学生は、そもそも日本国内では経済的支援者（貸与を含め）が乏しく、企業の支援策の検討もお願いしたい。
		主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に給与から、学費の未払分を払うような学生も、入社しているが、いい学生さんであれば、販社もできる支援はしていきたい（水越、星） ・スポーツメカニクス科の卒業生は、販社とは違う仕事の希望が多いと言うが、こうしたレースを通してでも車が大好きな人は、販売会社で働いてもらいたい人材でもある（水越） ・販社も、自社の設備環境などの改善を図って、学生さんにとって、より魅力的な企業となるようにしていきたい（星）
		意見の受止	<ul style="list-style-type: none"> ・学生への経済的支援については、企業の皆様にはご相談させて頂きながら、進めていきたい。 ・入学生数増により整備士志望の学生を増やすことは、学校の本分でもあり、各委員の団体様と共同で、種々活動を進めていく。
承認	6. 教育環境	主な課題	・コロナ禍で、22年度二級の内定者研修が実施できなかったが、23年度には本来の形に戻すことで計画している。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	7. 学生募集・受入	主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・22年4月、23年4月と入学の募集目標を達成。24年4月入学に向けた活動も、現時点では堅調。 ・日本人は、22年度、企業奨学金の採用・企業連携の募集活動も大きく進んだが、今後、安定的に員数を確保するには、こうした動きを実効化させ、定着させていく必要があり、更に力を入れていく。 ・留学生は、コロナ禍が一段落したことで入国が急回復しており、当面、応募数は増えてくるものと考え。しかし、今後の安定的確保のためには、現地→日本語学校→栃木校という明確なルートをつくっていく必要がある。昨年度、中国とのルートを構築しかけたがコロナ等の為、断念。新たに、宇都宮の日本語学校とルート作りを検討していく。
		主な意見	・この町に若い学生さんが多く集まってくれることは、町にとっても大変有意義な話。また、栃木校の校長が、町の教育委員会と共同で、自動車産業の情報を子供たちに提供してくれている事も、長い目で見て、職業人育成に寄与されていると考える（星野）
		意見の受止	・町の小中学校の校長会に参画し、これからの世代に向け、自動車産業の魅力を訴求していくので、今後も町の協力を仰ぎたい。
承認	8. 財務	主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日産学園全体の募集状況が改善してこない、財政的な健全化も望めない。 ・栃木校としては、21年、22年の募集目標を達成し、23年も現在堅調。更に一步でも先に勤める様努力する。 ・19年以降の日産自動車からの環境改善に関する寄付は、日産校がより快適、魅力的な施設である為に、大きく寄与している。23年度も寄附が決定したが、その後の寄付についても、要望していく。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	9. 法令等の遵守	主な課題	・22年度も、新型コロナウイルス感染症対応については、行政の指示等を条件の変更を含めマニュアルにまとめ、取り組みする中で、教育活動を継続して来たが、23年度に入り、状況を見つつ、緩和しつつある。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	10. 社会貢献	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	11. 国際交流	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の受止	—